全農提供ラジオ番組のご紹介

あぐりすた 未来へつなぐあぐりパワー

https://www.tfm.co.jp/agripower/

- 放送日：毎週木曜日 6:15～6:25（広島FM）
- パーソナリティ： 川瀬良子さん

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

https://www.tfm.co.jp/cdj/

- 放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送（広島FM）
- パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん 安田レイさん

SCHOOL OF LOCK! 農業部

TOKYO FM JFN 38 STATIONS 22:00-23:55 スクール オブ ロック!

https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/

- 放送日：毎週木曜日 23:00～23:06（広島FM）
- パーソナリティ： 鶴見　萌さん 大和明桜さん

～全国FM38局で放送中～

JAグループ広島

JA全農ひろしまホームページ

https://www.zennoh.or.jp/hr/

JA全農ひろしま　営農情報LINE

JA全農ひろしま

JAグループ広島営農通信　2023年（令和5年）3月発行（年4回発行）

JAグループ広島 営農通信

2023年 春号

▲無コーティング直播を体験する高校生（JAグループ担い手アグリサミットにて）

◆ **米穀情報**
①米の需給動向
②令和5年産米等の作付意向（速報）
③広島県産米消費拡大に向けた取り組み

◆ **園芸情報**
①生産振興の取り組み
②青果物の販売経過および情勢

◆ **TOPICS**
•耕畜連携・資源循環ブランド「3−R」の取り組み

◆ **営農支援情報**
•栽培管理支援システムxarvio（ザルビオ）フィールドマネージャー

◆ **肥料・農薬情報**
①難防除雑草に有効な除草剤について
②春に行う水稲の土づくりについて

◆ **農業機械情報**
①共同購入トラクタ（中型）の購入生産者インタビュー
②第3弾 共同購入コンバインの取り組みについて

米穀情報

① 米の需給動向

農林水産省の需給見通しでは、令和4年産生産量や需要量の見通しを踏まえた令和5年6月末民間在庫は191～197万トンと見込まれ、令和5年産の適正生産量は669万トンとされています。面積ベースで令和4年産と同規模の作付け転換を図れば需給が均衡する見通しとなります。

一方で、需要量については、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向等によっては今後、変動する可能性があるとされており、販売動向によっては国の見通し以上に在庫量が増大する可能性もあります。

【主食用米等の需給見通し（農林水産省の資料を基に作成）**】**

国の需給見通し（3/1食糧部会）			
令和4/5年	令和4年6月末民間在庫量	A	218
	令和4年産主食用米等生産量	B	670
	令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888
	令和4/5年主食用米等需要量	D	691～697
	令和5年6月末民間在庫量	E=C−D	191～197
令和5/6年	令和5年産主食用米等生産量	F	669
	令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	860～866
	令和5/6年主食用米等需要量	H	680
	令和6年6月末民間在庫量	I=G−H	180～186

（注1）主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売動向等によって、今後、変動する可能性がある。
（注2）四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

② 令和5年産の作付意向（速報）

農林水産省が公表した「水田における作付意向について（第1回中間的取組状況）」によると、各都道府県の主食用米作付意向は令和4年産実績との比較で前年並み傾向が35県、減少傾向が12県となり、現時点では国の需給見通しに沿った意向の産地が多くを占める状況となっています。

【令和5年産米等の作付意向（令和5年1月末現在）（農林水産省の資料を基に作成）**】**

	主食用米	加工用米	飼料用米	米粉用米	新市場開拓用米	WCS	麦	大豆	備蓄米
前年より増加傾向	0県	15県	11県	16県	18県	20県	23県	16県	6県
前年並み傾向	35県	27県	25県	24県	18県	21県	14県	15県	22県
前年より減少傾向	12県	2県	10県	5県	3県	4県	8県	14県	5県

※前年実績との比較

このようななか、JAグループ広島では、米の生産・販売に係る将来予測も踏まえた需要に応じた生産や、需給環境に左右されにくいブランド力向上、契約栽培の拡大をすすめ、農業者の所得増大を支えてまいります。

③ 広島県産米消費拡大に向けた取り組み

JA全農ひろしまでは、令和4年度より広島県産米の消費拡大を目指す『ひろしま米はひろしま愛プロジェクト』をすすめています。

プロジェクトは、販促活動を強化し量販店や産直市、飲食店等において、広島県産米の認知度向上や付加価値の創出、ファン作りをすすめ、最終的には農家の所得向上を実現していきます。

プロジェクトロゴ

また、プロジェクトの一環として、10月15日を「広島県民米あきろまんの日」として制定しました。広島県で開発された「あきろまん」の県民への認知度向上とブランド力向上に向け、全農ひろしまが申請し、（一社）日本記念日協会により登録されました。

プロジェクトポスター

『ひろしま米はひろしま愛プロジェクト』始動に際して制作したランディングページ（専用サイト）では、特にあきろまんにスポットを当て、開発者や生産者、実需者、販売者といった様々な立場からその魅力や想いを語っていただくインタビュー記事を掲載予定です。

専用サイトでは今後、あきろまんに限らず、広島県産米の認知向上、購買促進につながる魅力あるコンテンツを随時掲載、発信できるよう企画しています。

広島県内の生産振興、維持のため、一人でも多くの県民の方に本プロジェクトの内容と趣旨をPRし、購買という形で賛同いただけるよう取り組みをすすめていきます。

●『ひろしま米はひろしま愛プロジェクト』ランディングページ（専用サイト）
URL：https://www.hiroshimamai.jp

■全農ひろしまホームページ https://www.zennoh.or.jp/hr/
※トップページから、「米穀」とお進みください。　ひろしま米　検索

全農ひろしまは、今後も広島県内のお米や産地の魅力を発信していきます。

〈お問合せ先〉米穀総合課／塚本（つかもと）：TEL.082−431−5450
米穀販売課／山口（やまぐち）：TEL.082−431−3000

園芸情報

① 生産振興の取り組み

■施設園芸におけるLPガスを活用した光合成促進機のご紹介

JAグループでは、燃焼効率が高くクリーンでメンテナンス性に優れ、燃料の残量管理が不要なLPガスをエネルギー源とした光合成促進機や園芸施設暖房機器の提案を行っています。現在、若手の担い手を中心にLPガスへの燃料転換や、新規ハウスでの導入等の事例が増加しています。

【光合成促進機（炭酸ガス発生装置）】

炭酸ガスを発生させることにより、施設内の不足した炭酸ガスを補給することで光合成を促進させて生物の成長を促し、農産物の収量増加・品質向上につなげる製品です。

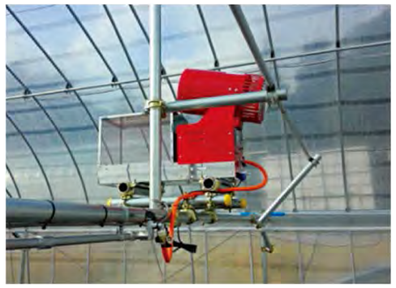
【光合成促進機の種類】

機種名	希望小売価格（税別）	ハウス面積（目安）
TC-2000S	215,000円	300～400坪
TC-100S	161,000円	150～300坪
ML-60S	79,800円	100～210坪
ML-40S	58,800円	70～140坪

【適合する農作物】

・イチゴ・トマト・きゅうり・ピーマンなど、花を付け実を結ぶサイクルを繰り返す農作物で、特に費用対効果が高くなります。
・バラ・ラン・トルコキキョウ・ブドウ・マンゴー・メロン等でも実績があります。

【光合成促進機設置写真】



【導入者感想】

・三次市いちご農家（面積:11a）

光合成促進機を導入したことで、果実個々の重量や品質の向上を実感し、収穫回数も増やすことができました。炭酸ガスにより、活発に光合成することで根が強くなるなどの生長を促します。収穫期間が長くなるほか、良品質で欠品が少なく、病気にもなりにくいです。温度や日照時間、湿度のデータを取り、施用方法を工夫することで、3年目以降で樹勢が良くなり開花数が増え、良いときで4回収穫していたのが、5回になりました。

・広島市安佐北区トマト農家（面積:450a）

ハウス内の温度保持のため、冬場にはハウスを閉めきる必要があります。ハウスを閉めきったまま作物が光合成を続けると、ハウス内の炭酸ガス濃度が下がってしまうため、良品質のトマトを作るには光合成促進機が欠かせません。炭酸ガス濃度も含めたハウス内環境の集中管理により、反収が大幅に増加しました。機械を稼働させる時間帯など工夫しながら、さらなる反収増加を目指しています。

〈お問合せ先〉　園芸課／藤田（ふじた）：TEL.082－846－4708
ガス住環境課／酒井（さかい）：TEL.082－846－4709

② 青果物の販売経過および情勢（全国情勢と販売状況）

◆青果物〔令和4年12月～令和5年2月の〕全国情勢と2月末販売状況 ※金額は全て税抜

令和4年12月～令和5年2月の平均気温は、寒気の影響を受ける時期であった北日本低かった一方、広島県では平年並みとなりました。降水量は、冬型の気圧配置が強まる時期があったため、東日本の日本海側では多くなりました。一方、広島では低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量は少なくなりました。日照時間は、高気圧に覆われやすい時期があったため、西日本の日本海側と太平洋側は多くなり、広島では平均比120%程度となりました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い（令和5年2月末累計）のうち、卸売市場仕向けについては、出荷量11,521t（前年比103%）、販売金額3,886百万円（同104%）、単価は337円/kg（同102%）で推移しています。

■全農ひろしまの市場販売状況（令和4年4月～令和5年2月累計）

	数量		金額		単価	
	（t）	前年比	（千円）	前年比	（円/kg）	前年比
野菜合計	11,521	103%	3,886,327	104%	337	102%
トマト	2,714	106%	861,885	108%	318	102%
青ねぎ	1,410	97%	807,958	105%	573	109%
キャベツ	1,342	127%	88,466	131%	668	103%
小松菜	999	101%	252,219	99%	252	98%
だいこん	946	85%	90,960	104%	96	123%
きゅうり	812	106%	198,429	107%	244	101%
ほうれんそう	572	104%	310,747	106%	544	102%
なす	246	124%	56,086	116%	228	93%
わけぎ	245	102%	167,366	105%	684	103%
アスパラガス	223	85%	252,905	83%	1,133	98%
ばれいしょ	188	58%	30,287	65%	161	113%
ピーマン	178	101%	47,876	104%	269	103%
ミニトマト	169	123%	116,203	130%	689	106%
青梗菜	165	103%	55,444	109%	336	106%
豌豆	55	92%	63,944	88%	1,336	98%
その他葉茎菜類	2	67%	1,853	85%	752	128%

※全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／藤田（ふじた）：TEL.082－846－4708

◆2月単月の概況

【出荷量】

○2月単月の出荷量は前年より36t増加し502t（108%）となりました。最も出荷量が多かった青ねぎは3t減少し115t（97%）、2番目に多かった白ねぎは20t増加し70t（139%）、4番目に多かった小松菜は14t増加し59t（131%）となりました。

○一方で、3番目に出荷量が多かったトマトが12t減少し62t（85%）、キャベツは19t減少し12t（40%）となりました。

○雪害等の影響により北部地域の出荷量が減少していましたが、2月より回復しました。

※（ ）は前年比

【単価・金額】

○2月単月の単価は441円/kg（103%）、販売金額は出荷量増と単価高で221百万円（111%）となりました。最も出荷量が多かった青ねぎの単価は568円/kg（109%）、白ねぎは274円/kg（101%）、小松菜は371円/kg（97%）となりました。

○一方で、出荷量が減少したトマトの単価は507円/kg（102%）、キャベツの単価は63円（95%）となりました。

○2月上旬の冷え込みの影響によって出荷に遅れが生じ、果菜類、葉物ともに概ね安定した価格で推移しました。

※（ ）は前年比

◆3月の見通し

（1）入荷量の見通し

3月の指定野菜（15品目）は、北海道、東海、中国、四国、九州産が出回ると見込まれ、入荷量は前月を上回り、前年、平年と同等と見込まれます。

（2）卸売価格の見通し

このような入荷量のもとで、3月の指定野菜の卸売価格は、前月と同等、前年を下回り、平年と同等と見込まれます。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し（3月）

品目	入荷量			卸売価格			（参考）前年3月の主産地シェア（%）
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	⇗	⇗	⇗	=	↘	⇗	長崎(60)、福岡(24)、鹿児島(7)
にんじん	⇗	=	=	⇗	⇗	↘	鹿児島(45)、徳島(20)、長崎(17)、熊本(17)
はくさい	↘	=	=	=	=	=	長崎(66)、熊本(17)
キャベツ	⇗	=	↘	=	↘	⇗	愛知(43)、福岡(17)、鹿児島(8)、熊本(8)、佐賀(7)
ほうれんそう	⇗	↘	↘	↘	⇗	⇗	広島(82)、福岡(15)
青ねぎ	⇗	=	↘	↘	=	⇗	広島(71)、大分(11)、鳥取(7)、福岡(4)、愛媛(2)
白ねぎ	=	=	⇗	=	=	⇗	鳥取(70)、大分(20)
レタス	⇗	↘	↘	↘	=	⇗	長崎(51)、福岡(26)、香川(14)
きゅうり	⇗	=	=	↘	=	↘	宮崎(40)、佐賀(29)、熊本(9)、鹿児島(8)
なす	⇗	⇗	⇗	↘	=	=	福岡(75)、佐賀(16)
トマト(ミニトマトを除く)	⇗	=	=	=	=	=	熊本(44)、広島(28)、長崎(10)、宮崎(10)
ピーマン	⇗	=	=	↘	=	=	宮崎(41)、鹿児島(33)、熊本(11)、高知(10)
ばれいしょ	⇗	=	=	=	↘	↘	鹿児島(61)、北海道(39)
さといも	↘	=	↘	=	=	↘	愛媛(87)、宮崎(9)
たまねぎ	=	=	↘	=	↘	↘	北海道(67)、長崎(14)
計	⇗	=	=	=	↘	=	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値である。

※この資料の内容は、令和5年2月22日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。

※主要野菜の入荷及び卸売価格の見通のコメント及びグラフは令和5年2月28日中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

（参考）広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品目	12月上旬		12月中旬		12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬		2月上旬		2月中旬	
	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比	入荷量	平年比
だいこん	452	137%	344	106%	385	101%	216	116%	398	112%	378	96%	437	125%	355	111%
にんじん	297	117%	288	104%	251	97%	101	86%	241	98%	205	87%	235	105%	167	92%
はくさい	542	116%	427	89%	526	92%	249	88%	429	102%	477	106%	428	102%	305	78%
キャベツ	530	109%	427	90%	516	93%	280	91%	523	100%	530	101%	518	98%	456	94%
ほうれんそう	50	146%	29	82%	30	74%	16	70%	39	109%	38	83%	39	86%	36	69%
青ねぎ	34	102%	27	80%	33	74%	20	79%	32	85%	35	88%	32	83%	29	77%
白ねぎ	95	124%	90	100%	81	77%	54	121%	96	117%	75	91%	66	93%	61	108%
レタス	219	128%	153	90%	174	79%	85	80%	159	98%	163	101%	142	84%	122	76%
きゅうり	125	84%	111	79%	111	69%	97	77%	117	87%	106	65%	126	82%	113	75%
なす	51	136%	37	107%	30	83%	40	113%	30	87%	25	62%	39	93%	43	99%
トマト(ミニトマトを除く)	92	118%	82	102%	69	82%	73	96%	104	105%	97	87%	97	97%	89	94%
ピーマン	40	100%	28	73%	30	75%	23	79%	46	110%	36	86%	37	97%	31	78%
ばれいしょ	254	113%	240	106%	205	103%	126	86%	193	88%	296	111%	264	105%	272	107%
さといも	10	53%	8	31%	14	36%	3	30%	5	27%	4	21%	6	32%	5	36%
たまねぎ	503	126%	430	105%	375	101%	172	77%	412	114%	419	92%	497	109%	404	110%

資料:「広島市中央卸売市場日報」

注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

〈お問合せ先〉園芸課／藤田（ふじた）：TEL.082−846−4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品目	12月上旬		12月中旬		12月下旬		1月上旬		1月中旬		1月下旬		2月上旬		2月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	57	90%	54	79%	80	98%	79	84%	64	82%	72	115%	72	92%	69	87%
にんじん	101	89%	105	92%	132	96%	123	96%	113	88%	129	124%	142	115%	140	106%
はくさい	49	80%	41	65%	75	113%	68	84%	51	67%	78	135%	69	100%	73	110%
キャベツ	68	87%	73	91%	94	94%	100	82%	94	98%	93	103%	92	88%	92	88%
ほうれんそう	386	73%	599	105%	822	129%	773	104%	610	95%	616	110%	614	112%	537	111%
青ねぎ	538	92%	573	95%	754	107%	846	107%	745	102%	702	112%	706	110%	673	107%
白ねぎ	324	89%	335	93%	502	124%	441	91%	289	78%	356	120%	348	101%	283	79%
レタス	84	58%	129	78%	210	98%	257	106%	210	110%	191	101%	230	121%	229	126%
きゅうり	311	93%	410	98%	683	134%	409	108%	372	99%	625	141%	466	110%	380	113%
なす	354	82%	379	82%	410	89%	352	89%	410	94%	617	135%	488	110%	445	103%
トマト(ミニトマトを除く)	299	96%	300	99%	317	98%	309	105%	301	108%	327	118%	356	111%	333	97%
ピーマン	441	115%	511	118%	642	128%	680	132%	655	109%	742	107%	774	103%	781	104%
ばれいしょ	110	82%	106	85%	115	85%	124	94%	130	86%	137	89%	146	97%	136	92%
さといも	229	101%	241	103%	319	109%	297	105%	273	110%	276	114%	276	108%	247	91%
たまねぎ	105	97%	107	98%	111	98%	113	108%	114	97%	119	101%	126	109%	125	100%

資料:「広島市中央卸売市場日報」
注:平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

月別の天候

全国　3か月予報(03月～05月)

2023年2月21日14時00分 気象庁発表

03月～05月	気温	平均気温は、北･東･西日本で高い確率50%です。
3月	天候	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。東･西日本日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東･西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄･奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
	気温	気温は、北日本で高い確率50%です。東･西日本で平年並みまたは高い確率ともに40%です。
	降水量	降水量は、沖縄･奄美では、平年並または少ない確率ともに40%です。
4月	天候	北･東日本日本海側と沖縄･奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。北･東日本太平洋側と西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、北･東･西日本で平年並みまたは高い確率ともに40%です。
5月	天候	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東･西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。沖縄･奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、北･東･西日本で平年並みまたは高い確率ともに40%です。

出典:気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課／藤田(ふじた)：TEL.082－846－4708

TOPICS トピックス

耕畜連携･資源循環ブランド「3－R」の取り組み

●3－R生産者紹介 ドーセンファーム 中谷さん

呉市の最東端に位置する安浦町で3-R循環野菜を生産する中谷さんにお話を伺いました。

中谷さんは農業を始めた初年度から、3-R推奨たい肥「完熟こだわり健肥」や地元の畜産たい肥を使用し、青ねぎやトマトなどを生産されています。畜産たい肥を使用することは、大きな労力を伴いますが、「畜産たい肥は、いいものを作るために必要なステップ」であると、苦労をいとわない様子でした。現在は特定非営利活動法人やすらぎの利用者の方々と一緒に作業を行い、地域とのつながりも大切にされています。

そんな中谷さんには、就農してから他の農家の方とも活動していく中で、築かれた信念があります。「農家が大切にしなければならないのは、『国土保全』『食糧供給』という農業が持つ役割を果たすこと。農業を営むことで、耕作放棄地の発生を抑えることができる。」畜産たい肥を使い、農業を長きに渡り続けていくために豊かな土地作りをしなければならないと話してくださいました。

今後の目標として「野菜の生産者が畜産たい肥を使うだけではなく、牛などの農家へ飼料として供給できるようになっていきたい。」と循環型農業について熱く語ってくださいました。

中谷さんの紹介動画は
QRコードを読み取り
ご覧ください。

●耕畜連携･資源循環ブランド3－Rのインスタグラム

Instagram(インスタグラム)3－Rのアカウントを開設しました! 3－R生産者の方の想いや3－Rの取り組みなどを消費者の方に向けて発信しています。

生産者の皆さまには、生産にかける想いやオススメの食べ方など、色々とお聞きさせていただきたいと考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願いします。
【アカウント名:@3r_san.aaru】

フォロー&いいね!
お願いします♪

〈お問合せ先〉改革推進課／狩谷(かりや)：TEL.082－846－4701

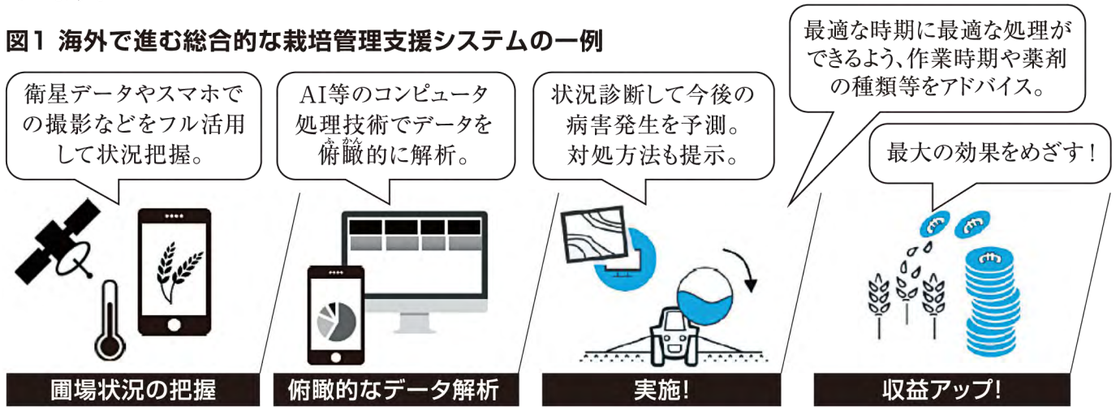
営農支援情報

栽培管理支援システム xarvio（ザルビオ）フィールドマネージャー

近年、日本では担い手への農地集積がすすんでいますが、小規模かつ分散している場合もあり、このような多くの圃場をいかに効率的に管理するかが課題になっています。

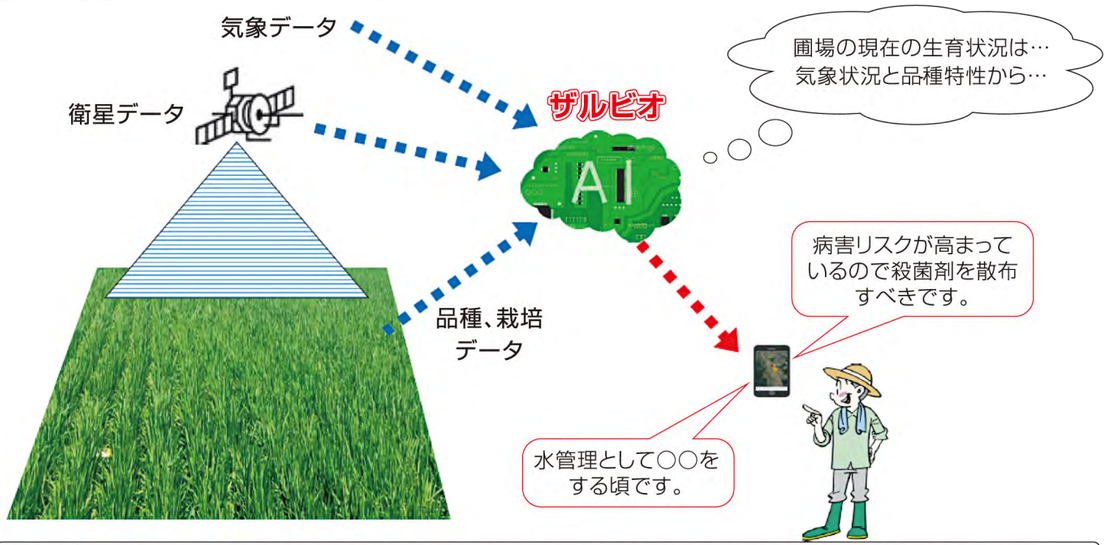
一方、海外では、広域圃場の管理に、栽培履歴や気象、土壌の情報に基づいて生育予測や施肥・防除、収穫適期などのアドバイスを行う総合的な栽培管理支援システムを活用して、効率的な栽培管理・労力軽減を図っています。

図1 海外で進む総合的な栽培管理支援システムの一例



上図と同じような管理ができるシステムとして、世界15か国、400万ha以上で使用されているのが「ザルビオフィールドマネージャー」です。全農とBASF社は、協業して日本の栽培体系により適した改良をすすめ、水稲と大豆と小麦で、AIの解析による効率的な栽培管理がサポートできるシステムのサービスを開始しました。

図2 栽培管理支援システム（ザルビオ）の機能



気象情報や作付け情報をもとに、衛星が目となり、ザルビオが頭脳となって、最適な栽培を支援します。

具体的には、作物や品種、気象情報や人工衛星からの画像など様々な情報をAIによって解析することにより、各作業段階において最適な栽培管理を提案する新しい栽培支援システムです。（図3）

パソコンやタブレット、スマホ等の機器からWEBに接続して利用します。

図3 ザルビオ活用シーン（水稲）

さらに、圃場管理を行うZ−GISと一緒に利用することにより、営農全体の状況をより効率よく把握することもできます。

ザルビオフィールドマネージャーの利用料金は、次のとおりです。

	無料プラン（無料で試したい方向け）	有料プラン
料金（年額・税込）	０円	１３，２００円
全機能利用可能な圃場数	２圃場	１００圃場

※圃場数の追加は、年間契約5,500円（税込）/100圃場の単位で可能です。

申込方法を含むその他詳細については、「ザルビオ」検索で出てくる「xarvio®-Japan(Japanese)」サイトの「xarvioとは?」ページをご覧ください。

圃場数が多くなり、栽培管理に課題をお持ちの方は、是非一度ご検討ください。

〈お問合せ先〉営農支援課／神田（かんだ）：TEL.082−846−4706

肥料・農薬情報

① 難防除雑草に有効な除草剤について

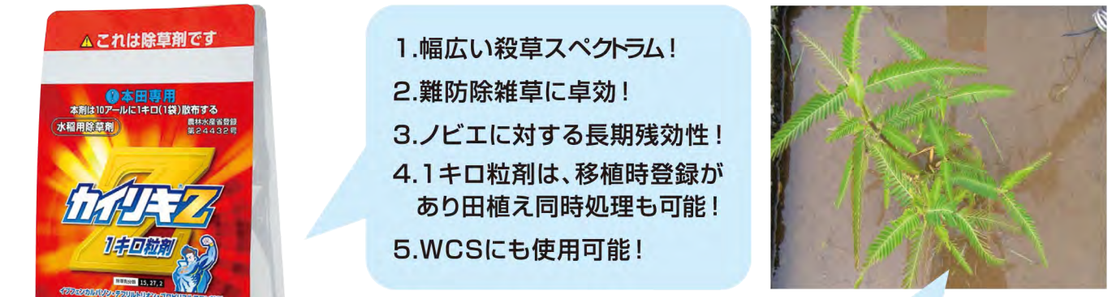
何度も寒波が襲来した今冬もまもなく終わりを迎え、植物たちが芽を出し成長を始める春がやってきます。冬号では次作のウンカの対策についてお伝えしましたが、春号では気温の上昇に伴い芽吹いてくる水田雑草対策についてご紹介します。

令和4年10月に広島営農技術センターで開催された「アグリサミット」においても、ノビエやオモダカなどはもちろん、難防除雑草であるクサネム等が残って困ったなどの声が例年以上に聞かれました。このような難防除雑草にお困りの方に、一発処理除草剤**「カイリキZ」**をおすすめします。

後発したノビエ

◎「カイリキZ」の概要

1.幅広い殺草スペクトラム！
2.難防除雑草に卓効！
3.ノビエに対する長期残効性！
4.1キロ粒剤は、移植時登録があり田植え同時処理も可能！
5.WCSにも使用可能！



厄介なクサネムにも有効です！

雑草名	ノビエ	カヤツリ	コナギ※	クログワイ※	ホタルイ	オモダカ※	イボクサ	クサネム
発生前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ノビエ3葉期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※必要に応じて有効な前処理剤または後処理剤を使用する

○除草剤の効果を最大限引き出すために

除草剤の効果は**代かきや水位など圃場の状況によっても左右**されます。丁寧な代かき、各種除草剤に適した水位の調整を心掛けましょう。また、苗の植え付けが浅い場合、土壌表面に形成された処理膜に苗の根が触れ、薬害を生じる恐れがあります。浅植えの際には十分注意してください。

※農薬の使用に関しましては、商品に記載されている登録内容を一読し、必ず登録内容を順守するようお願いします。

② 春に行う水稲の土づくりについて

現在の稲作をめぐる情勢の中で、資材費削減が求められています。特に施用の労力や資材の高騰から、たい肥や土づくり資材の散布をやめてしまう生産者の方が増加しており、**昔と比べて土はどんどんやせていっています。**

生産者手取りの最大化を目指すためには、資材費の削減も必要ですが、収量を増やして、収益を確保していくことが重要です。近年多発する異常気象条件下でも安定した収量を確保するためには、「土づくり」はかかせません。今一度、土づくりの重要性を見直していきましょう。

（1）広島県水田土壌の現状

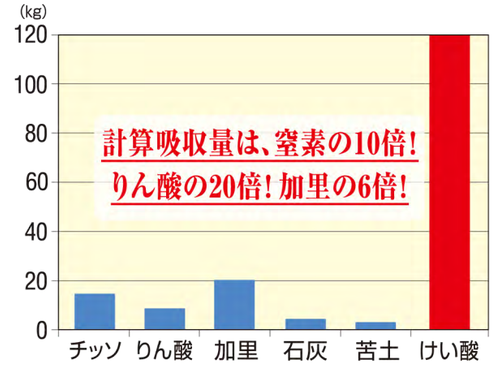
水稲は、けい酸作物といわれるように、多収量を確保するためにはけい酸は必須です。しかし、県内圃場のけい酸含有量は不足傾向にあり、深刻な状況となっています。また、根の健全な育成に必要な「鉄」、吸収量が多い「加里」についてもほとんどの圃場で不足している状態で、水稲の栽培には不利な条件となっています。

（2）水稲栽培におけるけい酸の重要性

水稲はけい酸を特異的に吸収し、玄米600kg生産には120kgのけい酸を吸収するといわれています（右図）。

けい酸が不足すると、

①葉や茎が軟弱となり、病害虫にかかりやすくなる
②倒伏もしやすくなる
③生育の衰え、登熟不良等により収量低下に結びつく（特に異常気象時）ことが知られています。



玄米600kg当たりの養分吸収量

（3）おすすめの資材

・「ミネラルG」（春耕起前までに施用）

施用により「けい酸」と「鉄」、「苦土」等を補います。施用量の目安は、**10aあたり200kg**です。

・「けい酸加里プレミア34」（代かき前までに施用）

施用により不足しがちな「けい酸」と「加里」を効率的に補給します。

春施用の場合、代かき前までに**10aあたり40kg**が施用量の目安となります。

「まだ遅くはありません。春施用でも間に合いますので、基本の土づくりを行いましょう。」

〈お問合せ先〉肥料農薬課／谷保（たにやす）：TEL.082−846−4705

農業機械情報

①共同購入トラクタ（中型）の購入生産者インタビュー

ご購入いただいた生産者の声をお届けします。

今回は株式会社全農アグリサポート広島 三和事業センターを通じて購入された、農事組合法人有原の冨永組合長と原田さんをご紹介します。

【共同購入トラクタを知ったきっかけ、購入動機】

法人ではトラクタを1台しか所有していなかったため、作業分担のためもう1台必要だった。その折に、世羅大豊農園で開催された全農アグリサポート広島展示会で共同購入トラクタを知り、購入しやすい価格だったため、購入を決定した。

【使用後の満足度】

運転しやすいが、カタログ表記ほどは燃費がよくない気がする。

ターンする時に回転数が落ちるのが良い。

【共同購入トラクタの主な使用目的、使用頻度】

水稲がメインで大豆も栽培している。栽培面積は水稲16ha、大豆 1.5ha

【その他（ご意見・要望）】

畦畔の草刈は大変だが、リモコン草刈機を使用するほどの面積ではない。

左:農事組合法人有原 冨永組合長
中央:農事組合法人有原 原田さん
右:(株)全農アグリサポート広島 市川次長

稲刈終了後、共同購入トラクタで耕運作業の様子

JAグループ共同購入トラクタとは

共同購入トラクタの取り組みは、生産資材コスト低減に向けたJAグループ自己改革の一環です。全国1万人以上の生産者の声を反映し、機能を選りすぐり、全国でまとめて注文することでメーカーの製造、流通を効率化し、製造コストを削減しています。

※共同購入トラクタの取り組みは、令和5年3月末で発注締切となります。
ご興味のある方は、最寄りのJA農機センター・株式会社全農アグリサポート広島までお問合せください。

②第3弾 共同購入コンバインの取り組みについて

共同購入コンバインは、「4条刈・50馬力クラス」で計画をすすめ、現在「事前購入申込書」をJA農機センター・㈱全農アグリサポート広島を通じて、とりまとめを行っています。

とりまとめ結果をメーカーに提出することで、低価格実現の大きな力にしていきます。

取扱メーカー、価格等は令和6年1月にご案内させていただく予定ですので、興味のある方はJA農機センター・㈱全農アグリサポート広島まで申し込みをお願いします。

〈お問合せ先〉農業機械課／平岡（ひらおか）：TEL.0824−62−3103